

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【公開番号】特開 2006-183033 (P2006-183033A)

【公開日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【年通号数】公開・登録公報 2006-027

【出願番号】特願 2005-316721 (P2005-316721)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

C 0 8 K 5/20 (2006.01)

B 6 5 D 65/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 23/00

C 0 8 L 23/26

C 0 8 K 5/20

B 6 5 D 65/02 B R H E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 4 日 (2006.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリオレフィン樹脂と、クロージャ潤滑剤と、化学的にグラフトされたポリオレフィン樹脂との混合物から成り、前記化学的にグラフトされたポリオレフィン樹脂は、シクロデキストリン化合物から成るランダムに置換された共有結合基から成るポリメチレン骨格から成り、前記シクロデキストリン化合物は、シクロデキストリン環の中心孔に化合物を実質的に有さないことを特徴とする熱可塑性ポリマー容器クロージャ組成物。

【請求項 2】

前記組成物は、100 重量部のポリオレフィン樹脂と、0.01～10 重量部の前記化学的にグラフトされたポリオレフィンと、0.05～4 重量%の潤滑剤と、から成り、前記ポリオレフィンは、0.5～100 g / 10 分間のメルトインデックスを有し、前記化学的にグラフトされたポリオレフィンは、0.7～200 g / 10 分間のメルトインデックスを有するポリオレフィンから誘導されることを特徴とする請求項 1 に記載の熱可塑性ポリマー容器クロージャ組成物。

【請求項 3】

前記クロージャ潤滑剤は、前記組成物を基準として 0.1～3 重量%の脂肪酸アミドから成ることを特徴とする請求項 1 に記載の熱可塑性ポリマー容器クロージャ組成物。

【請求項 4】

0.75 g～1.25 g の成形されたポリオレフィン製キャップから成るポリオレフィン製クロージャであって、前記キャップは、ポリオレフィン樹脂と、クロージャ潤滑剤と、化学的にグラフトされたポリオレフィン樹脂との混合物から成り、前記化学的にグラフトされたポリオレフィン樹脂は、シクロデキストリン化合物から誘導されているランダムに置換された共有結合基を有するポリメチレン骨格から成り、前記キャップは、100 重量部のポリオレフィン樹脂と、0.05～4 重量%の脂肪酸アミド潤滑剤と、0.0

1 ~ 10 重量部の前記化学的にグラフトされたポリオレフィンとから成り、前記シクロデキストリン化合物は、シクロデキストリン環の中心孔に化合物を実質的に有しておらず、前記キャップの表面における潤滑剤の濃度はバルクポリマー前駆物質における潤滑剤の濃度よりも高いことを特徴とするポリオレフィン製クロージャ。

【請求項 5】

前記クロージャ潤滑剤は、前記組成物を基準として 0 . 1 ~ 3 重量%の脂肪酸アミドから成ることを特徴とする請求項 4 に記載のポリオレフィン製クロージャ。